

平成30年度第2回
やまがた出会いサポートセンター運営委員会議事要旨

日時：平成30年8月30日（木）
13時30分～15時00分
場所：あこや会館1階ホール

意見等

<委員>

毎週センターの出張説明・登録・閲覧会を開催してもらっている。そのことが、10回目の街コンでの男性110名、女性75名という多数の参加者に繋がったのではないかと思う。県と一体となって、また折に触れ市町村に足を運んでもらってPRすることにより、婚活に力を入れている県として理解されてきたのではないか。地方に出向いての、センターの各種取組みを継続して行ってほしい。

各種広報紙等へのPR原稿の掲載依頼は、掲載枠の確保の都合上1か月半前までをお願いしたい。

<委員>

月1回やまがた縁結びたいによる結婚相談会を開催している。その際相談者にセンターのリーフレット等を配布している。今後も、機会をとらえながらPRの協力をしていきたい。

<委員>

4月に道の駅米沢がオープンし好評を得ている。道の駅（ゲートウェイ）への情報誌等設置による情報発信を実施してはどうか。人が多く集まる場所へのチラシ設置等の工夫をしてもらいたい。ぜひ旬である道の駅でのPRを検討してほしい。

当市ではイベント実施団体へ補助金（上限50,000円）を予算化している。

県建設業協会米沢支部では女性が少ない職種ということもあり、イベントを実施するなど婚活に力を入れている。企業間出会いサポーターの依頼等検討してみてもどうか。企業との連携はとても大切である。

<事務局>

東南置賜建設業協会より、企業間出会いサポーター参加企業の登録をしていただいた。参加企業が村山地域に偏っているので、他の地域でも広めていきたいと考えている。

<委員>

奇数月に庄内支所のスタッフによる結婚相談会を実施している。10月からは月1回程度、やまがた縁結びたいによるなんでも相談を庄内支所で行うとのことだが、やまがた縁結びたいには鶴岡コンシェルジュの方も登録しているので、お互いのメリットなどを説明し周知できれば良いと思う。

11/8 に、白河桃子氏を講師に招き、働き方改革や企業における結婚支援のあり方等をテーマにした講演会を開催する。その際ブースを設ける等してセンターの PR を実施してはどうか。

<委員>

センターのホームページで、酒田結婚サポートセンターのイベント情報を掲載してもらっている。センター及び酒田結婚サポートセンターを合わせて PR していきたい。

<委員>

企業団地での PR という話もあったが、そのような具体的な提案をしてもらうと繋がりやすいと思う。情報等の連絡希望者にはダイレクトメールなどで周知している。

<委員>

東根市結婚推進協議会主催でイベントを実施している。ここ数年の内容はカップリングバスツアーで、今年は 10/14 に庄内方面のツアーを予定している。東根市結婚推進協議会と連携し、センター事業の PR も入れながらバスツアーを成功させたいと考えている。

<委員>

やまがた縁結びたいと連携しての専門的アドバイスの実施が好評を得ている。

婚活支援員が昨年度から 2 名減で 6 名となった。

婚活支援員の意見交換会で、精神的な病を持った方が相談に来た時の対応に苦慮しているという話が出た。結婚希望者がどのくらいいるのか等の情報を集めたいが、個人情報保護の観点などからどのようにすればよいか悩んでいる。

婚活支援員に補助金として 1 名に 1 年間 5,000 円を予算化している。婚活イベント実施団体への補助金を上限 100,000 円とし支給している。婚活支援員によるお見合いから成婚し山辺町居住の場合、支援員へ 100,000 円支給している。H29 度実施のイベントは、参加者男性 12 名、女性 9 名、マッチング 4 組であった。

<委員>

やまがた縁結びたいとの連携が功を奏してきていると思う。7 月末のマッチング数、成婚組数に着実に反映されているのではないかと思う。若い世代の多くはプロフィールを基に婚活を進めているようだが、その方たちへのあたたかい気持ちでのバックアップが結果に繋がっていくのだと改めて感じた。

地域おこし協力隊が懸命に婚活支援に取り組んでいる。任期満了後は、起業しさらに婚活支援を続けたいとのことである。町としても一緒に企業訪問をするなど、町ぐるみで若者の背中を押すべく取り組んでいる。

<委員>

7/9 のライフデザイナー連絡会議において、マッチングシステムの説明等をしてもらった。今年度は3月頃に、DIY、日曜大工等の内容のイベントを計画している。女性参加者の募集等課題もあるので、センターと連携しながらPRを進めていきたいと考えている。

<委員>

青年部が婚活イベントを継続的に実施している。3回シリーズの実施など、やり方を変えて、会う機会を増やしてということを考えている。

女性部に声掛けをして、女性部から消費者、お客様に対してセンターPRのお手伝いができないものかと思っている。9/4に集まりがあるので担当と話し合う。

<委員>

関係団体へ各種チラシを配布している。今年度は配布先の団体へ、イベント開催時等にチラシの配布を依頼している。

モンテディオ山形公式戦プログラムへの広告掲載とあったが、県内の他のスポーツ団体との連携も検討してはどうか。バスケットボールの山形ワイヴァンズ、バレーボールは酒田市のプレステージ・インターナショナルアランマーレの運営企業に企業間出会いサポーターへの参加協力を依頼してはどうか。

企業間出会いサポーターについて、女性が主力の産業別の協同組合などへの協力依頼も検討してはどうか。

<事務局>

貴重な意見をいただいた。理容組合訪問時に、美容業への協力依頼を勧められた。意見を基に今後PR等を進めていく。

<委員>

社会福祉協議会ならではの福祉のチャンネル等を活かしながら、地域の中での世話焼きさんである民生委員児童委員、福祉協力員の方々を通じて事業展開に協力していければと思っている。

<オブザーバー>

保育所とは監査で訪問したり繋がりがあるので、タイミングを見てチラシ配布等をしている。8月のPR強化月間には置賜広域行政事務組合を通じて、高島町のスポーツクラブ「ユルット」にセンター、やまがた縁結びたいのパンフレット等を設置してもらった。

<オブザーバー>

最上広域婚活実行委員会にオブザーバーとして参加している。最上地域みんなで子育て応援団の会議を、毎月総合支庁で実施しており、その場でチラシ等の配布を行っている。